

平成 30 年度 自己評価・学校関係者評価書

平成 31 年 3 月 1 日

認定こども園中央幼稚園

1 幼稚園の教育目標

正しく（良い事、悪い事の判断を身につけよう。悪いと思う事をしない勇気を持とう。）
強く（心身ともにたくましくなろう。）
仲良く（親、兄弟、友だちを思いやり、感謝し、仲良く生活しよう。）

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

幼保連携型認定こども園としての運営を軌道に乗せ、定着させていく。年齢、保育時間、家庭環境等様々な異なる状況の子どもたちを預かる中で一人一人の子どもや各家庭環境に合わせた保育が提供できるように引き続き努力する。また、職員間での情報共有を徹底し、新しい認定こども園教育・保育要領についての知識を高め、共通の教育理念のもと保育が行われるように努めていく。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価
① 保育の計画性	3.71	保育は計画的に行われているが新たに改訂された教育・保育要領に関する理解度は個人差があり職員間で話し合いの場が少ないように感じられる。今後より理解を深めて頂きたい。	3.5
② 保育のあり方 幼児への対応	3.86	子どもの健康と安全への配慮・欠席情報等父兄への注意喚起が徹底されている。今後も継続して各家庭への丁寧な対応に期待する。	3.8
③ 教師として資質 能力、適正等	3.85	子どもの性格や個性を把握し情報共有することが出来ている。親しみある笑顔や挨拶を今後も心がけてほしい。	4
④ 保護者への対応	3.94	今年度も迅速な対応と情報の周知徹底が図られている。怪我・トラブル・クレームに加えヒヤリハットも職員間で情報共有し、父兄へも園での様子を伝えることが出来ている。	4

⑤地域の自然や地域との関わり	3.41	近隣住民との親しみを込めた挨拶や小学校との交流も積極的に行われている。引き続き未就園児向けの地域開放イベントや定期的な入園説明会を実施し、子育て支援施設としての役割も担うことが出来ている。	3.6
⑥研修と研究	3.57	各職員が経験年数に応じた研修に参加し、その後の情報共有も行われているが専門知識に関する研修への参加や各自で学ぶ意欲を今後より高めて頂きたい。	3.8

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

<p>1. 幼保連携型認定こども園に移行し2年目で運営や父兄への対応も定着してきている。職員間でよく情報共有しながら保護者の要望に応えようと努力する姿勢が感じ取れる。</p> <p>2. 園の教育理念や教育方針のもと、計画的な保育が行われているが、新たに改訂された認定こども園教育・保育要領についても今後話し合いや園内研修の機会を増やし、理解を深める努力をして頂きたい。</p>

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育者としての姿勢 (計画的に業務を進める)	園の教育方針・教育理念に加え、新たに改訂された認定こども園教育・保育要領について各職員の理解を深め、実際の指導計画が継続性を持って作成されるように努めていきたい。一人一人の子どもの性格・家庭環境等の情報を職員で共有し、丁寧な対応・指導ができるように今後も引き続き職員間での情報周知や話し合いの場を大切にしていきたい。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

<p>認定こども園2年目となり充実した教育内容は変わらず、知育徳育体育のバランスのとれた教育が持続され、且つ認定こども園の特色を活かし、異年齢保育等の機会を増やしていることが感じられました。引き続き、子ども達と父兄へのきめ細やかな対応と認定こども園としての特色を活かした継続性のある保育をして頂くことを期待しています。今後も「子どもたちの未来のために」を合言葉に充実した保育の提供を宜しくお願いします。</p>
